

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成11年3月23日

第51報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	660		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	70		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	40		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(珪) <i>Melosira varians</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	740		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	460		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	40		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	10		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	820	36.4	43.8
(珪) 珪藻綱	820	36.4	32.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	1.3	5.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	480	21.3	12.4
(み) みどり虫藻綱	20	0.9	0.4
(緑) 緑藻綱	70	3.1	5.1
(他) その他のプランクトン	10	0.4	0.0
総細胞数	2250	総体積	9.03E+05
種類数	20	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Paradileptus</i> sp.	120

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Stokesia</i> sp.	80

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 μm と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



***Paradileptus* sp.**
(パラディレプツス)
繊毛虫

繊毛虫の中の全毛類-トラケリウス科に属する。細胞は大型で、表面全体に繊毛が生えている。細胞前部は長い突起(吻)になっており、吻の付け根に口がある。吻にある繊毛列は口の周囲を螺旋形に回っている。

コメント: 植物プランクトンは、引き続き珪藻のヒメマルケイソウが最も多かった。黄色鞭毛藻のウログレナは3群体/ml見られた。動物プランクトンは、繊毛虫類のパラディレプツスが120個体/lと最も多く、次いで同じく繊毛虫類のストケシアが80個体/l見られた。